

神奈川県・三浦市へ船員政策の申し入れ
漁業に親しむ広報が重要

三崎支部は、第 85 回定期全国大会の決定事項に基づき、神奈川県三浦市の吉田英男市長へ申し入れを行った。

申し入れには、高宮成昭関東地方支部長兼三崎支部長に、石渡ゆみ子全国海友婦人会三崎支部長と石崎遊太三浦市議会議員が同席し、高宮関東地方支部長から、申し入れ文書を手交し、趣旨説明を行った。申し入れの内容は、▽船員の確保・育成の推進について▽海に親しむ活動について▽船員税制について▽宿泊施設についての協力を要請した。

ご対応いただいた吉田英男三浦市長からは「船員税制に関する住民税の減免については、実施されている他の自治体の情報を踏まえたい。三崎港周辺における宿泊施設については、新海業プロジェクトにおいて、ビジネスホテルや宿泊施設を誘致する動きがあり、実現できるよう検討している」との見解が示された。

高宮関東地方支部長からは「船員不足の中、三浦市においても漁業に親しむ広報やアピールが重要であり、海員組合の諸活動に対する引き続きの協力をお願いしたい」と要望し、遠洋マグロはえ縄漁船の現状や外国人漁船員と三浦市在住の組合員数などについて意見交換し、共通認識と相互理解を深めた。

「海員だより」